

小児科この1年

小児科医長 佐藤 敬

診療スタッフ

平成18年1月から8月までは室野晃一診療部長以下、佐藤敬、熊谷百祐、太田圭の4人体制で診療にあたりました。9月からは熊谷が旭川医大に転出し、代わって函館赤十字病院から椎葉豪が赴任しております。また初期研修で那須先生、須藤先生、稲垣先生、岩本先生が、ニポポプログラムで秋山先生がそれぞれ1～3ヶ月当科を廻り獅子奮迅の働きをみせて頂きました。

外来

一般外来は基本的に毎日午前・午後とも2診体制で行い、毎週水・木曜日に一ヶ月健診、火・木曜日にワクチン外来を行っております。ワクチン外来は、今年度より予約制としましたが特に大きなトラブルもなく、また臨床研修の先生たちに担当していただき健常児の診察をするなかで小児の正常な所見についてみていただく貴重な機会となっております。

専門外来は従来どおり旭川医大から出張していただき、神経外来（田中講師）、心臓外来（真鍋医師）、内分泌外来（上田医師）をそれぞれ月1回行っております。

外来患者数は、平成18年累計で平日は一日平均101名、休日は19名でした。

病棟

病棟は主に佐藤、熊谷（8月まで）、椎葉（9月から）、太田が診療にあたっております。平成18年度の入院患者数は1169人で、一般小児977名、新生児192名であり昨年よりも一般小児科の入院数が約200名ほど増加しております。小児科では

肺炎などの下気道感染症326名で最も多く、新生児では極低出生体重児を含む早産・低出生体重児が53名で入院の約1/4を占めていました。

カンファレンスなど

入院患者については月曜日から金曜日まで毎日（火・金曜日は午後一時半より、その他の曜日は夕方より）スタッフ全員でカンファレンスを行い、その後総回診を行っています。また翌月の各医師の予定・学会発表の予行会・診療全般に関するカンファレンス、産婦人科とのハイリスク妊娠カンファレンスをそれぞれ月一回行っています。このほか20年以上にわたる伝統の市立士別総合病院小児科との合同抄読会を行っています。

研究・教育活動

論文は一遍、学会活動は3題発表しました。教育に関しましては名寄短大看護学科、上川北部医師会准看護学校で小児科の講義を室野・佐藤が担当して行っております。

おわりに

ご存知のとおり、来年度は北海道の他地域に先立ちまして、市立士別総合病院小児科と当院小児科の集約化が行われます。どのような状況になるのか私自身もまだイメージがわかりませんが、これまで以上に病院各部署およびスタッフの皆様にご理解・ご尽力をいただく場面が増えることと思います。我々小児科医も誠心誠意努力する所存でございますので引き続きご協力のほど宜しくお願いいたします。